

令和3年度

出資団体監査の結果報告書

中津川市監査委員



中 監 査 第 3 9 号  
令 和 4 年 2 月 1 4 日

中津川市長            青 山 節 児 様  
中津川市議会議長   岡 崎 隆 彦 様

中津川市監査委員  
今 井 正 義  
吉 村 浩 平

### 令 和 3 年 度 出 資 団 体 の 監 査 結 果 に つ い て

令 和 3 年 度 の 出 資 団 体 の 監 査 を 地 方 自 治 法 第 1 9 9 条 第 7 項 の 規 定 に  
よ り 実 施 し た の で 、 そ の 結 果 を 同 条 第 9 項 の 規 定 に よ り 報 告 し ま す 。

# 目 次

1	監査の対象及び監査の期日	1
2	監査の方法	1
3	監査の結果	1
	団体別の監査結果	
	Ⅰ (株)阿木レイクサイド	2
	Ⅱ 山口特産開発(株)	4

## 1 監査の対象及び監査の期日

令和3年度の出資団体（第三セクター）監査は、市の出資団体4社のうちから、監査委員が選定した次の団体の経営状況について実施した。

実施日	出資団体（第三セクター）名	担当課
11月18日(木)	(株)阿木レイクサイド	観光課 農業振興課
11月22日(月)	山口特産開発(株)	観光課 山口総合事務所

## 2 監査の方法

令和2年度における出資団体の現金出納等に関する事務、事業の執行及び事業結果について監査を行った。

監査にあたっては、各団体から提出された定款等の写し、事業計画書、事業報告書、決算報告書（貸借対照表・損益計算書）を参考に、会計帳簿、その他関係書類について精査し、併せて団体責任者等及び担当課職員の説明を聴取すると共に、現地調査を行った。

## 3 監査の結果

監査結果は次のとおりである。

# I (株)阿木レイクサイド

## 1 監査の対象

(株)阿木レイクサイド

## 2 監査の期日 令和3年11月18日(木)

## 3 事業の概要

(株)阿木レイクサイドの事業の内容については、次のとおりである。

- (1) パターゴルフ場の経営
- (2) 公共団体が建築する施設の管理、運營業務の受託
- (3) 飲食店、喫茶店の経営
- (4) 日用雑貨品及び観光用土産物の販売
- (5) 煙草・酒類及び医薬品の小売業
- (6) 農産物・畜産物の販売
- (7) 不動産の賃貸、管理
- (8) スポーツ施設、宿泊施設の経営
- (9) 地域開発計画の策定
- (10) 砂利採取業
- (11) その他前各号に付帯する一切の事業

第27期(令和2年1月1日から令和2年12月31日)事業報告によると、パターゴルフ場入場者が前期との比較で817人、バーベキュー場が67組減少した。これは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業等の影響によるものと思われる。

そばの実は前期と比較して収穫量が多く、石抜き作業費収入は増となったが、物品販売については、新型コロナウイルス感染症の影響でそば屋からの注文が減少したことにより、そば事業全体では5,561千円の収入となり前期の5,663千円の収入に対して1.8%の減収となった。

#### 4 経理の状況

令和2年1月1日～令和2年12月31日

(単位：円)

<b>収 益</b>	<b>15,685,273</b>	<b>資産合計</b>	<b>13,696,427…①</b>
営業収益	13,230,238	流動資産	13,538,547
営業外収益	2,440,035	固定資産	157,880
特別利益	15,000		
<b>費用・損失</b>	<b>15,285,209</b>	<b>負債合計</b>	<b>2,238,048…②</b>
売上原価	2,183,531	流動負債	1,922,048
営業費用	12,513,311	固定負債	316,000
特別損失	301,000		
当期法人税等	287,367	<b>純資産合計</b>	<b>11,458,379…③</b>
<b>当期純利益</b>	<b>400,064</b>	資本金	10,000,000
		繰越利益剰余金	1,458,379
			※① = ② + ③

#### 5 監査の結果

令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業等の影響により、パターゴルフ場、バーベキューの利用者数が減少してしまった。

また、同様の理由により物品販売が減少したことで、そば事業全体で前期比1.8%の減収となっている。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず厳しい状況ではあるが、コロナ禍及びアフターコロナ過における営業のあり方について、豊かな自然環境を利用した散策エリアの設定や密を避けることが出来るバーベキュー場をはじめとした屋外施設の活用、特徴ある農産物の販売等を含め、利用者ニーズに合わせた新たな取り組みを研究・実施されたい。

## Ⅱ 山口特産開発（株）

### 1 監査の対象

○山口特産開発(株) 平成4年7月設立

- ・木曾ごへ一本舗（平成4年7月 旧山口村から運営委託）
- ・道の駅「賤母」（平成7年8月 旧山口村から運営委託）
- ・おふくろ工房（平成9年11月 開設 自社取得）

### 2 監査の期日 令和3年11月22日（月）

### 3 事業の概要

山口特産開発（株）の事業の内容については、次のとおりである。

- （1）農畜産物の栽培、加工、販売
- （2）菓子の製造及び販売
- （3）惣菜の製造及び販売
- （4）食料品、酒類、清涼飲料水、たばこ、民芸品及び工芸品の販売
- （5）飲食店および土産品店の経営
- （6）医薬品の販売
- （7）道の駅等交流事業に関わる物品の販売
- （8）その他地域振興に関する事業
- （9）その他前各号に付帯する一切の事業

第29期(令和2年2月1日から令和3年1月31日)事業報告によると、道の駅賤母の総客数が137,491人で前年対比71.7%まで減少した。これは、新型コロナウイルス感染症対策に伴う休業等の影響によるものと思われる。

木曾ごへ一本舗においては、苗木城跡でのごへーもち販売も自粛を余儀なくされ、売上高も25,032千円（前年対比67.4%）と著しく落ち込んだ。

また、おふくろ工房では単月では3月、11月、12月の売上高が前年を上回ったが、年度末総売上高は19,716千円（前年対比78.7%）となり、会社全体の総売上高は、201,277千円（前年対比73.9%）まで落ち込み、当期純利益は3,240千円の赤字となった。



## 4 経理の状況

令和2年2月1日～令和3年1月31日

(単位：円)

収 益	209,566,466	資産合計	142,960,683…①
営業収益	201,277,156		
営業外収益	8,289,310	負債合計	9,443,684…②
費用・損失	212,806,484	資本金	41,000,000…③
売上原価	109,064,198		
販売費及び一般管理費		繰越利益剰余金	
	101,798,044		105,516,999…④
営業外費用	1,732,000	自己株式	
当期法人税等	212,242		△13,000,000…⑤
当期純利益	△3,240,018		※①＝②＋③＋④＋⑤

## 5 監査の結果

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により道の駅賤母の総客数は137,491人（前年対比71.7%）まで減少するなか、イベント等も中止となることで製造部門、販売部門、飲食部門ともに大きな影響を受けている。

また、会社全体の事業実績として、総売上高も201,277千円（前年対比73.9%）まで落ち込み、当期純利益は3,240千円の赤字が計上されている。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えず厳しい状況ではあるが、コロナ禍及びアフターコロナ過における営業のあり方について、道の駅賤母における魅力ある売り場づくりやおふくろ工房における特色ある新商品の開発等を含め、利用者ニーズに合わせた新たな取り組みを研究・実施されたい。